

審議会等の会議録

審議会等名	令和4年度 第2回海老名市国民健康保険運営協議会
開催日時 (意見提出期間)	令和4年12月20日(火)13時55分から14時30分まで
場 所	海老名市役所 4階 401会議室
出席者	海老名市国民健康保険運営協議会 委員10名 高橋委員、石渡委員、小林委員、市川委員、田中委員、前田委員、大矢委員、澤地委員、牛村委員、太田委員 事務局 6名 保健福祉部次長(健康・保険担当) 小松 幸也 国保医療課長 青野 昌樹 国保医療課 国保年金係長 小野 健太郎 国保医療課 国保年金係主査 関野 大輔 国保医療課 国保年金係主査兼保健師 佐藤 愛由子 国保医療課 国保年金係管理栄養士 井上 菜摘
傍聴人数	0名
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部非公開・ 非公開の理由	
議 題	(1) データヘルス計画に係る令和3年度実施計画の外部評価について (2) その他
資 料	(1) 次第 (2) 資料1 データヘルス計画に係る令和3年度実施計画の外部評価について (3) 資料1-2 令和3年度実施計画評価シート

○会議の内容（提出された意見及びそれに対する回答）

1 開 会
2 委嘱状の交付 小松次長より委嘱状の交付
3 次長あいさつ 【次長あいさつ】 <ul style="list-style-type: none">○ 運営協議会への出席、日頃からの国保運営に対する協力へのお礼。○ 現在、新型コロナウイルス感染者については、まだまだ収束が見えない状況にある。○ 本市では、オミクロン株対応のワクチン接種を9月下旬から個別接種を開始し、11月中旬から高齢者の集団接種を開始している。○ 12月中に対象者が接種を受けられるよう、医師会等関係機関と連携し、接種体制を整え、円滑に進めている。○ 第8波に入り、感染者が急増していることから、可能な限り速やかに接種していただくことが重要と考える。○ 引き続き、接種体制の確保に努めるとともに、市民への周知を強化し、ワクチン接種を通じた感染防止対策に取り組んでいく。○ 本日の第2回国保運営協議会は、データヘルス計画の令和3年度の評価を議題としている。○ 今後も国保運営協議会のお力をお借りしながら、国の方針に合わせて市の方針を決定していく必要がございますので、引き続きご助力をお願いします。
4 会長あいさつ <ul style="list-style-type: none">○ 本日は、海老名市国民健康保険データヘルス計画に係る令和3年度実施計画の外部評価が議題となる。○ 委員の皆さんにおいては、その内容について忌憚のない意見をお願いしたい。
5 副会長の選任 <ul style="list-style-type: none">○ 会長及び副会長は、海老名市国民健康保険運営協議会規則第3条の規定により、公益を代表する委員から選出することとなっている。○ 委員より、事務局に一任する声あり。○ 事務局より、副会長を田中委員とした事務局案を提示し、意見の確認。○ 委員より、意見なしの声あり。○ 副会長は田中委員と決定。 【副会長あいさつ】 <ul style="list-style-type: none">○ 民生委員児童委員の任期満了に伴い、委員の変更となった。○ 委員の皆さまのご意見等をいただきながら、その役割を果たしていきたい。

－ 田中委員が副会長席に移動－

6 議題

以後の議事は、国保運営協議会規則第4条に基づき、市川会長が進行。

【会 長】	議題1、データヘルス計画に係る令和3年度実施計画の外部評価について、事務局に説明を求める。
【事務局】	資料1及び資料1-2に基づき、事務局：小野係長より説明。
【委 員】	特になし
【会 長】	議題2、その他について、事務局及び委員に確認。
【事務局】	今年度から保健指導等で使用している緑黄色野菜の推定摂取量を測定できる「ベジチェック」を会場入口に設置したので、興味ある方は退出時に使用願いたい。
【委 員】	ジェネリック医薬品についてですが、医薬品メーカーの不正により、供給不足が続いており、手に入りにくい状態である。データヘルス計画にも目標値を設定し、進捗管理を行っているが、医療機関としては、最善の努力をしていくのでご了承願いたい。

7 閉 会

議事が終了したことから、事務局が進行。

【副会長あいさつ】

- お忙しい中、運営協議会にご出席いただき、謝意を申し上げます。
- データヘルス計画の令和3年度実施計画の外部評価は、PDCAサイクルを機能させるための重要な作業となりますので、引き続きご協力をお願いしたい。
- これをもって、令和4年度第2回国民健康保険運営協議会を閉会とする。

【資料 1】

**データヘルス計画に係る
令和 3 年度実施計画の外部評価について**

令和 4 年 12 月 20 日

保健福祉部 国保医療課

はじめに

平成20年度以降のレセプトや特定健診のデータの電子化の普及により、各保険者で健康情報の蓄積が可能となり、課題や対策を講じることが可能となりました。

その後、平成25年6月に閣議決定された「**日本再興戦略**」において、全ての保険者に対し、「**保健事業計画（データヘルス計画）**」の策定と、それに基づく**保健事業の実施及び評価**が求められました。

これを受けて、本市では**加入者の健康増進（健康寿命の延伸）と医療費適正化**を目的とした**平成28年度にデータヘルス計画【第1期】**を策定し、現在はデータヘルス計画[第2期]において、**毎年度その実績及び取組の状況**について、**評価を行うこと**としています。

データヘルス計画とは

特定健診データや診療報酬明細書（レセプト）の分析に基づき、効果的かつ効率的に保健事業を推進するための事業計画。

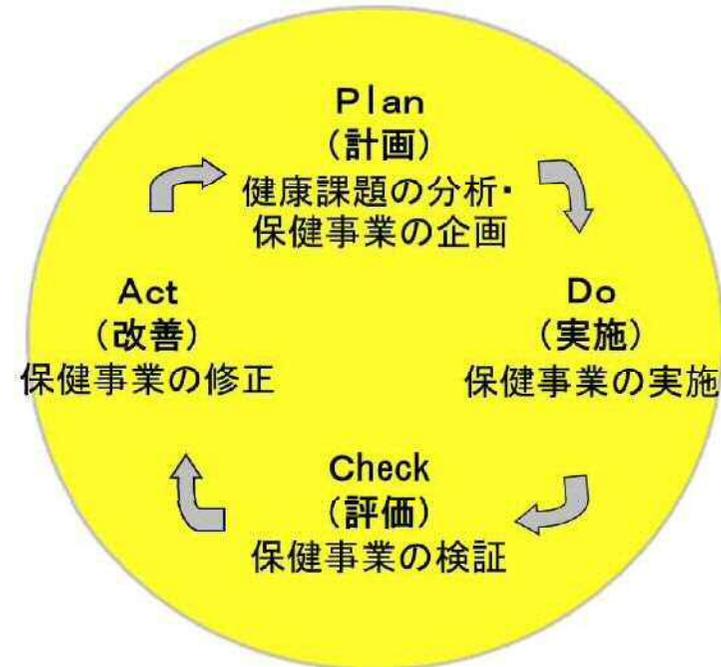
計画期間：[第2期] 平成30年度から令和5年度までの6年間

期間	前期			後期			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
進行管理 及び 評価	事業実施	事業実施 前年度評価	事業実施 前年度評価	事業実施 前年度評価	事業実施 前年度評価	事業実施 前年度評価	
		見直し	見直し	中間評価 見直し	見直し	見直し	上半期に 仮評価

データヘルス計画 実施計画の評価・見直し

計画の評価に当たっては、保健事業の実施と分析を行うデータヘルス計画の実施計画を中心に、特定健康診査、特定保健指導とともに、**毎年度その実績及び取組の状況**について、(※) KDBシステム等を活用しながら、**進行管理を行い、目標に対する評価**を行います。

(※) KDBシステム・・・国保データベースシステム
特定健診・特定保健指導」「医療（後期高齢者医療含む）」「介護保険」等の情報を活用し、統計情報や「個人の健康に関する情報」を提供し、保険者の効率的かつ効果的な保健事業の実施をサポートすることを目的として構築されたシステム



【参考】PDCAサイクルのイメージ

評価に当たっては、**海老名市国民健康保険運営協議会委員の協力を得て実施**し、必要に応じて随時見直すとともに、次期計画につなげていきます。

令和3年度の実施計画の評価

項目	事業名
1 特定健診 (3事業4項目)	未受診者への受診勧奨事業 継続受診対策事業 みなし特定健診事業
2 特定保健指導 (2事業4項目)	特定保健指導 早期介入保健指導事業
3 生活習慣病重症化予防事業 (3事業3項目)	糖尿病重症化予防事業 高血圧重症化対策事業 糖尿病性腎症重症化予防事業
4 重複・多剤服薬者への服薬指導事業 (1事業1項目)	重複・多剤服薬者への服薬指導事業
5 通知発送事業 (2事業2項目)	後発医薬品差額通知 医療費通知
6 関連保健事業 (健康づくり部門所管事業) (4事業4項目)	未病センター がん検診 オーラルフレイル健診 肝炎ウイルス検診

委員のみなさんをお願いしたいこと

事業名	事業概要	アウトプット	後期目標値			令和3年度 内部評価	今後の方向性	外部評価			
		アウトカム	後期実績値					1 支持する	2 支持しない		
			R3	R4	R5					【主な意見等】	
ア	未受診者への受診勧奨事業	特定健診未受診者の中から勧奨効果の高い対象者を選定し、優先順位を付けて受診勧奨を行う。	受診勧奨率	100%	100%	100%	受診勧奨率 100% (実績3,290人/対象3,290人) 特定健診受診率 20.4% (実績3,797人/対象18,569人)	見直し 継続	令和4年度の特定健診の自己負担を免除し、更なる受診率の向上に努めていく。 電話による勧奨はつながった時の効果は高いので、より勧奨効果の高い対象者を選定して優先順位をつける等、効率的・効果的な方法を検討していく。	1 支持する	【主な意見等】
				100%	-	-					
			特定健診受診率(2月末時点の速報値)	15%	20%	25%	受診勧奨率及び特定健診受診率ともに目標値を達成した。				
				20.4%	-	-					

各事業について、事務局で令和3年度の内部評価を行っておりますので、それに対する**評価（支持する、支持しない）**をお願いします。

また、各事業に対してご意見等がありましたら、合わせてご記入をお願いします。

1 特定健診

事業の目的	長期目標	生活習慣病の発症や重症化を予防すること
	短期目標	特定健診受診率の向上を図ること
対象者	40歳以上の国保加入者	
実施体制	市、海老名市医師会、厚木医師会、座間綾瀬医師会	

事業名	事業概要	アウトプット	後期目標値			令和3年度 内部評価	今後の方向性	外部評価				
		アウトカム	後期実績値									
ア 未受診者への受診勧奨事業	特定健診未受診者の中から勧奨効果の高い対象者を選定し、優先順位を付けて受診勧奨を行う。	受診勧奨率	R3	R4	R5	受診勧奨率 100% (実績3,290人/対象3,290人) 特定健診受診率 20.4% (実績3,797人/対象18,569人) 受診勧奨率及び特定健診受診率ともに目標値を達成した。	見直し 継続	令和4年度の特定健診の自己負担を免除し、更なる受診率の向上に努めていく。 電話による勧奨はつながった時の効果は高いので、より勧奨効果の高い対象者を選定して優先順位をつける等、効率的・効果的な方法を検討していく。	1 支持する	【主な意見等】		
			100%	100%	100%				2 支持しない			
		特定健診受診率 (2月末時点の速報値)	R3	R4	R5				15%		20%	25%
			20.4%	-	-							
イ 継続受診対策事業	特定保健指導修了者のつどい事業参加者に翌年度の特定健康受診を勧奨する。	修了者のつどい参加勧奨率	R3	R4	R5	参加勧奨率 100% (実績81人/対象81人) 行動変容率 77% (1回目 67% 2回目 87%) 参加勧奨率及び行動変容率は概ね目標を達成した。	現状継続	今後も事業を実施し、継続的な健診受診につながるよう支援していく。	1 支持する	【主な意見等】		
			100%	100%	100%				2 支持しない			
		参加者の行動変容率	R3	R4	R5				80%		85%	90%
			77%	-	-							
	特定健診受診者に、分かり易くて経年比較のできる結果票を送付する。	結果送付率	R3	R4	R5	結果送付率 100% (実績5,329人/対象5,329人) 特定健診受診率 20.4% (実績3,797人/対象18,569人) 結果送付率及び受診率ともに目標値を達成した。	現状継続	今後も特定健診受診者に対して、経年比較できる結果票を送付し、自身の健康管理につながるよう情報提供していく。	1 支持する	【主な意見等】		
			100%	100%	100%				2 支持しない			
		特定健診受診率 (2月末時点の速報値)	R3	R4	R5				15%		20%	25%
			20.4%	-	-							
ウ みなし特定健診事業	人間ドック受検者から受検結果の提供を受け、特定健診を受診したものとみなす。	結果提供勧奨率	R3	R4	R5	結果提供勧奨率 参考 (実績48人/対象48人) R3人間ドック 特定健診受診率 20.4% 777件 (実績3,797人/対象18,569人) 受検結果データに不足のある者に対し、電話確認し、データを補記することで受診率へ反映できた。	見直し 継続	令和4年度より申請時の結果提出を必須条件とし、申請者全てを受診者とみなせるように変更した。 この変更に伴い、目標値の設定(R4:100%、R5:100%)を削除する。	1 支持する	【主な意見等】		
			100%	-	-				2 支持しない			
		特定健診受診率 (2月末時点の速報値)	R3	R4	R5				15%		20%	25%
			20.4%	-	-							

2 特定保健指導

事業の目的	長期目標	生活習慣病の発症や重症化を予防すること
	短期目標	特定保健指導実施率の向上を図ること
対象者	特定保健指導基準該当者	
実施体制	市（保健師、管理栄養士、看護師、健康えびな普及員）、理学療法士、神奈川県国民健康保険団体連合会、海老名市医師会、厚木医師会、座間綾瀬医師会	

事業名	事業概要	アウトプット	後期目標値			内部評価	今後の方向性	外部評価						
		アウトカム	後期実績値											
ア 特定保健指導	特定保健指導基準該当者に利用勧奨を行う。	利用勧奨率	R3	R4	R5	利用勧奨率100% (実績680人/対象680人) 面接終了率 (実績99人/対象693人) 3月末時点の初回 面接終了率 12% 14% 16% 14.3% - - 勧奨通知が対象者に届いたタイミングで電話勧奨を実施したことで、目標値を達成したの と考える。	見直し 継続	勧奨通知の見直しを行い、より参加意欲が高まるよう工夫する。 また、市電子申請システムを利用した参加申込方法を検討する。	1 支持する	【主な意見等】				
			100%	100%	100%				2 支持しない					
			100%	-	-									
		3月末時点の初回 面接終了率	R3	R4	R5				特定保健指導の再勧奨通知に加えて、電話勧奨を行うことで、目標値を達成したの と考える。		現状継続	今後も通知及び電話による再勧奨を行い、特定保健指導の利用者を増やしていく。	1 支持する	【主な意見等】
			12%	14%	16%								2 支持しない	
			14.3%	-	-									
	特定保健指導勧奨通知送付者のうち、勧奨後一定期間経過した者に対して優先順位を付けて再度の利用勧奨を行う。	利用勧奨率	R3	R4	R5	イベント実施回数 4回 (R3.7、11、R4.1.3月) 面接終了率 14.3% (実績99人/対象693人) 神奈川県国民健康保険団体連合会と協働し、内臓脂肪測定を実施することで、参加意欲につながり目標値の達成に寄与したと考える。	現状継続	今後も神奈川県国民健康保険団体連合会と協働で事業を実施するほか、ページチェック測定を加えて、対象者の参加意欲が高まる事業を実施する。	1 支持する	【主な意見等】				
			100%	100%	100%				2 支持しない					
			100%	-	-									
イベント実施回数		R3	R4	R5	神奈川県国民健康保険団体連合会と協働し、内臓脂肪測定を実施することで、参加意欲につながり目標値の達成に寄与したと考える。				現状継続		今後も神奈川県国民健康保険団体連合会と協働で事業を実施するほか、ページチェック測定を加えて、対象者の参加意欲が高まる事業を実施する。	1 支持する	【主な意見等】	
		4回	4回	4回								2 支持しない		
		4回	-	-										
3月末時点の初回 面接終了率	R3	R4	R5	神奈川県国民健康保険団体連合会と協働し、内臓脂肪測定を実施することで、参加意欲につながり目標値の達成に寄与したと考える。	現状継続	今後も神奈川県国民健康保険団体連合会と協働で事業を実施するほか、ページチェック測定を加えて、対象者の参加意欲が高まる事業を実施する。	1 支持する	【主な意見等】						
	12%	14%	16%				2 支持しない							
	14.3%	-	-											
イ 早期介入保健指導事業	対象者に対して内臓脂肪型肥満に着目した保健指導を実施する。	対象者への指導実施率	R3	R4	R5	指導実施率 42.9% (実績3人/対象7人) 行動変容率 100% (実績3人/対象3人) 面接による保健指導が困難な電話や文書等を組み合わせて対象者の状況に応じた保健指導を行ったことにより、実施率の向上に寄与した。	現状継続	人間ドック受検者から結果を提供してもらえるよう、粘り強く依頼するとともに、若い世代の健康診断受診者からの対象者を毎月抽出し、可能な限り受診からの間隔を空けずに保健指導の利用勧奨を行っていく。	1 支持する	【主な意見等】				
			20%	25%	30%				2 支持しない					
			42.9%	-	-									
		対象者への行動変容率	R3	R4	R5				面接による保健指導が困難な電話や文書等を組み合わせて対象者の状況に応じた保健指導を行ったことにより、実施率の向上に寄与した。		現状継続	人間ドック受検者から結果を提供してもらえるよう、粘り強く依頼するとともに、若い世代の健康診断受診者からの対象者を毎月抽出し、可能な限り受診からの間隔を空けずに保健指導の利用勧奨を行っていく。	1 支持する	【主な意見等】
			80%	85%	90%								2 支持しない	
			100%	-	-									

3 生活習慣病重症化予防事業

事業の目的	長期目標 生活習慣病の発症や重症化を予防すること 短期目標 対象者のデータ維持改善
対象者	特定健診の結果が各事業の基準に該当する者のうち、治療歴がない又は治療を中断している者
実施体制	市（保健師、管理栄養士、看護師）、海老名市医師会

事業名	事業概要	アウトプット アウトカム	後期目標値			内部評価	今後の方向性		外部評価						
			R3	R4	R5		現状継続	今後の方向性	1 支持する	2 支持しない	【主な意見等】				
ア 糖尿病重症化予 防事業	対象者にかながわ保健指導 モデルの手法を用いたグ ループワーク保健指導を行 う。	対象者への指導、 受診勧奨率	R3	R4	R5	指導実施率 100% (実績7人/対象7人) 維持改善率 66.7% (実績4人/対象6人)	現状継続	今後も社会情勢を鑑みながら、勧奨方 法や内容を検討しつつ、事業を実施す る。	1 支持する	【主な意見等】					
			60%	70%	80%										
		参加者のデータ維 持改善率	R3	R4	R5						受診勧奨は目標を達成したが、グループ支援の 実施時期と緊急事態宣言が重なったことによ り、参加者が想定より少なかったため、動画配 信により対応した。	現状継続	今後も社会情勢を鑑みながら、勧奨方 法や内容を検討しつつ、事業を実施す る。	2 支持しない	【主な意見等】
			60%	65%	70%										
	66.7%	-	-												
イ 高血圧重症化対 策事業	対象者に医療機関への受診 勧奨を含めた保健指導を行 う。	対象者への指導、 受診勧奨率	R3	R4	R5	受診勧奨率 62.4% (実績191人/対象306人) 医療機関受診率 24.6% (実績15人/対象61人)	現状継続	国保連合会在宅保健師の人的支援を得な がら、事業を継続していく。 架電や訪問といった勧奨の手段を検討す るだけでなく、対象者の受診行動を促す チラシやリーフレットを作成するなど、 勧奨内容にも工夫を加えて未受診者の更 なる受診率向上につなげていく。	1 支持する	【主な意見等】					
			60%	70%	80%										
		指導後の医療機関 受診率	R3	R4	R5						血圧高値の状態を、自覚症状がないことや病院 測定時に高値であることを理由に深刻に受け取 らず、受診に至らない者もいるが、電話や訪問 により保健師等が直接対話を行うことで生活指 導ができ、対象者自身の健康に対する関心を高 めることが期待できる。	現状継続	国保連合会在宅保健師の人的支援を得な がら、事業を継続していく。 架電や訪問といった勧奨の手段を検討す るだけでなく、対象者の受診行動を促す チラシやリーフレットを作成するなど、 勧奨内容にも工夫を加えて未受診者の更 なる受診率向上につなげていく。	2 支持しない	【主な意見等】
			6%	8%	10%										
	24.6%	-	-												
ウ 糖尿病性腎症重 症化予防事業	対象者に文書による受診勧 奨を行った後、医療機関の 受診状況を確認し、受診が ない場合には受診再勧奨を 行う。受診開始後はかかり つけ医と連携して保健指導 を実施する。	対象者への指導、 受診勧奨率	R3	R4	R5	受診勧奨率 100% (実績14人/対象14人) 医療機関受診率 50% (実績7人/対象14人)	現状継続	引き続き、医師会や関係機関と連携を 図りながら、更なる実施体制の整備を 進めていく。	1 支持する	【主な意見等】					
			60%	70%	80%										
		受診勧奨後の医療 機関受診率	R3	R4	R5						医師会の専門医へ随時相談し助言を得ながら実 施体制を整備した。文書や電話による受診勧奨 とかかりつけ医からの指示の下に保健指導を行 い、目標値を達成した。	現状継続	引き続き、医師会や関係機関と連携を 図りながら、更なる実施体制の整備を 進めていく。	2 支持しない	【主な意見等】
			20%	25%	30%										
	50%	-	-												

4 重複・多剤服薬者への服薬指導事業

事業の目的	長期目標	医療費の適正化
	短期目標	重複・多剤服薬者を減らすこと
対象者	重複・多剤服薬の可能性のある国保加入者	
実施体制	市（保健師、管理栄養士、看護師）、海老名市薬剤師会、神奈川県国民健康保険団体連合会	

事業名	事業概要	アウトプット	後期目標値			内部評価	今後の方向性		外部評価		
		アウトカム	後期実績値								
ア	重複・多剤服薬者への服薬指導事業	対象者に対して実際の服薬状況を示して文書指導を行い、その後の服薬状況を見て改善されたかどうか判断する。	対象者への指導率	R3	R4	R5	指導率 -% (実績0人/対象0人) 服薬状況改善率 -% (実績0人/対象0人) レセプト情報等から、故意に重複処方を受けている様子の対象が確認できず、病状から必要な処方であると判断し、服薬情報通知の発送を実施しなかった。 抽出が適切に行われたことは海老名市薬剤師会との綿密な連携の成果と考える。	見直し 継続	これまでの実施状況を踏まえ、令和4年度は、海老名市薬剤師会に事業委託することで指導対象者の選定段階から薬剤師会の意見を取り入れるなど、更に連携を深め、より高い指導効果を目指す。	1 支持する	【主な意見等】
				100%	100%	100%					
			対象者の服薬状況改善率	R3	R4	R5					
				60%	70%	80%					

5 通知発送事業

事業の目的	長期目標	医療費の削減
	短期目標	対象者の行動変容
対象者	国保加入者	
実施体制	市、神奈川県国民健康保険団体連合会	

事業名	事業概要	アウトプット	後期目標値			内部評価	今後の方向性		外部評価		
		アウトカム	後期実績値								
ア	後発医薬品（ジェネリック医薬品）差額通知	先発医薬品の処方を受けた加入者に対して、後発医薬品を処方された場合との差額を通知する。	差額通知発送回数	R3	R4	R5	発送回数 3回 (R3.9,11, R4.2) 数量シェア率 73.2% (後発医薬品の数量:16,795,852.7/(後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量:22,946,199.8)) 令和3年度より抽出データを1被保険者あたり200円以上とし、数量シェア向上を目指した。	現状継続	今後も神奈川県国民健康保険団体連合会と協働し、差額通知を発送し、後発医薬品への切替を促す。	1 支持する	【主な意見等】
				3回	3回	3回					
			後発医薬品数量シェア率	R3	R4	R5					
				74%	77%	80%					

イ	医療費通知	保険診療を受けた加入者に1年間に掛かった医療費を通知する。	医療費通知発送回数	R3	R4	R5	発送回数 2回 (R4.1,3) 令和4年1月と3月に送付を行い、目標値を達成できている。	現状継続	年間の医療費額の把握に役立てるとともに、健康に対する意識や国民健康保険に対する認識を深めていく。	1 支持する	【主な意見等】
				2回	2回	2回					
				R3	R4	R5					

6 関連保健事業（健康づくり部門所管事業）

事業の目的	健康寿命（平均寿命・平均自立期間）を延伸すること。
対象者	市民
実施体制	市、委託医療機関

事業名	事業概要	モニタリング指標	後期目標値			内部評価	今後の方向性		外部評価	
			R3	R4	R5		後期実績値			
ア 未病センター	市役所庁舎1階に健康度見える化コーナーを設置し、健康測定や健康相談を実施する。	利用者数	R3 -	R4 -	R5 -	緊急事態宣言等による閉鎖期間があったが、前年度より利用者は増加している。	見直し 継続	令和元年度までの平時では目標値を達成していることから、引き続き経年変化のモニタリングのみを行うこととします。なお、令和4年8月からビナガーデンズパーチ6階「びなウエル」に移転し、若い世代の利用率向上を図る。	1 支持する 2 支持しない	【主な意見等】
			1,765	-	-					
イ がん検診	対象者の希望に合わせて、市が委託した医療機関で集団又は個別で健診を実施する。	がん検診受診率	R3 -	R4 -	R5 -	令和3年度のがん検診の受診率は、前年度からほぼ横ばいの状況。 ※令和3年度の各がん検診受診率 胃：8.3% 大腸：11.0% 肺：5.0% 乳：6.7% 子宮：10.4% 前立腺：17.1% 口腔：2.9%	現状継続	引き続き、受診者数の増加に向けた取組を進めながら事業を継続することとします。なお、対象者が国保加入者以外の市民も含まれることから今後も、目標管理は行わず、経年変化のモニタリングのみを行います。	1 支持する 2 支持しない	【主な意見等】
			右記のとおり	-	-					
ウ オーラルフレイル健診	市が委託した医療機関で、口腔機能の衰えや歯、歯周、義歯などのチェック及び歯周ポケットの測定を行う。	利用者数	R3 -	R4 -	R5 -	前年度と比較して受診者は減少している。令和3年度は55歳になる方に対して勧奨通知を発送しましたが、対象者が国保加入者以外の市民も含まれる。	現状継続	オーラルフレイル健診の対象年齢を50歳に引き下げる。対象者が国保加入者以外の市民も含まれることから、今後は、目標管理は行わず、経年変化のモニタリングのみを行うこととします。	1 支持する 2 支持しない	【主な意見等】
			349	-	-					
エ 肝炎ウイルス検診	市が委託した医療機関でHCV型抗体検査、HBs型抗原検査を行う。	肝炎ウイルス検診受診率	R3 -	R4 -	R5 -	受診率2.6% (実績969人/対象37,410人) 令和3年度の肝炎ウイルス検診の受診率は、前年度からほぼ横ばいの状況。	現状継続	引き続き、受診者数の増加に向けた取組を進めながら事業を継続することとします。なお、対象者が国保加入者以外の市民も含まれることから今後も、目標管理は行わず、経年変化のモニタリングのみを行います。	1 支持する 2 支持しない	【主な意見等】
			2.6%	-	-					